

地域再生等担い手育成

全国フォーラム in 伊豆稲取 (静岡県東伊豆町)

地域からの小さなイノベーションをめざして

日時と会場

2月12日(火) 13:30～ 基調講演・分科会

2月13日(水) 9:30～ パネル・ディスカッション

会場 伊豆稲取温泉・稲取銀水荘 / 主催 国土交通省 / 共催 東伊豆町

開催趣旨

地域再生は、地域の主体が連携し、自らイニシアティブを発揮し、協働していくことが基本となります。国土交通省都市・地域整備局においては、地域再生に資する人材育成を進めており、住民、企業、行政等の多様な主体による地域の協議会や NPO 等による取組を進める上で、地域の担い手に共通する課題について理解を深め、学識経験者や専門家を交えつつ、幅広く意見交換する場として、研修会及び全国フォーラムを開催しております。

本年度の全国フォーラムは、昨年12月の研修会の成果も踏まえ、離島、半島、豪雪、山村、過疎といった自然条件、地理条件の厳しい地域を中心に、産業と雇用を生む地域づくりの可能性と、そのための人材育成・誘致、NPO や社会企業等の運営のあり方、必要なスキルなどに焦点をあてて議論します。

フォーラムの概要

基調講演— 『地域振興と人材育成の最先端 (仮題)』 関 満博氏 (一橋大学大学院商学研究科教授)

地域に「働く場」を作ることは、地域の自立的発展を実現していく上で、多くの地域に共通の課題です。常に地域産業振興の「現場」に身をおき、また、各地で人材育成に取り組んでいる立場から、最先端の取組と課題についてお話いただきます。

分科会

2つの分科会に分かれて、各々、先進的な地域の取組についての話題提供をもとに、各地域の取組の特色、共通の課題などについて、参加者も交えた意見交換を行います。

第1分科会— 『地域の条件を活かした産業と雇用』

離島、半島、山村などの立地条件、自然条件等を克服し、またこれらを活かした取組、地域の比較優位を活かした産業と雇用を生む地域をめざす取組のさまざまな可能性と課題について、意見交換します。

第2分科会— 『特色ある交流人口誘致と人材育成』

観光・交流による地域活性化に取り組む地域が多い中で、地域独自の魅力を築き、地域全体で取り組んでいくための課題、二地域居住や公募等を通じて必要な人材を迎える上での課題等について意見交換します。

パネル・ディスカッション「小さなベンチャーとソーシャルベンチャーの可能性」

基調講演、分科会での議論を踏まえて、地域の将来を切り拓く人材をどのように育て、誘致し、その層をいかに厚くしていくか、さらに、地域の取組を事業化し継続的に取り組んでいくための組織、NPO、社会企業、営利企業等を運営していくためのスキルをどのように高めていくか、幅広く意見交換します。

プログラム

2月12日（火） 第1日目

- 13:00 受付
- 13:30 開会の挨拶
- 14:00 基調講演
「地域振興と人材育成の最先端（仮題）」
関 満博 氏 [一橋大学大学院商学研究科教授]
- 15:30 ガイダンス
—休憩—
- 16:00 分科会
第1分科会 「地域の条件を活かした産業と雇用」
話題提供：鳴本 浩二 氏 [NPO法人かさおか島づくり海社理事長]
司会進行：園田 正彦 氏 [三井物産戦略研究所研究フェロー]
第2分科会 「特色ある交流人口誘致と人材育成」
話題提供：西尾 久美子 氏 [神戸大学大学院経営学研究科COE研究員]
司会進行：溝口 久 氏 [前・由布院観光協会・旅館組合事務局長（現・静岡県県民部）]
- 18:00 終了
- 18:30 交流会

2月13日（水） 第2日目

- 9:00 受付
- 9:30 パネル・ディスカッション
「小さなベンチャーとソーシャルベンチャーの可能性：条件不利地域は挑戦する」
コーディネーター
神座 保彦 氏 [ニッセイ基礎研究所研究理事]
パネリスト
鳴本 浩二 氏 [NPO法人かさおか島づくり海社理事長]
園田 正彦 氏 [三井物産戦略研究所研究フェロー]
西尾 久美子 氏 [神戸大学大学院経営学研究科COE研究員]
溝口 久 氏 [前・由布院観光協会・旅館組合事務局長（現・静岡県県民部）]
- ・パネリストによる各分科会報告とコメント
 - ・パネリストによる意見交換
 - ・会場との意見交換
 - ・パネル・ディスカッションのまとめ
- 11:45 閉会の挨拶
終了—ガイダンス
- 13:00 伊豆稲取の現地見学
- 14:20 終了 ※現地解散

講師・パネリスト・コーディネーター紹介

関 満博 氏 [一橋大学大学院商学研究科教授]



1948年富山県生まれ。1971年成城大学経済学部卒業、1976年同大学院博士課程修了。東京都商工指導所、専修大学助教授等を経て現職。経済学博士。専門は地域産業論、中小企業論。一貫して「現場」調査をもとに、中国や北東アジア地域も対象に研究を続けている。製造業の後継者育成のために各地で私塾を展開。主著に「地域経済と地場産業」(中小企業研究奨励賞)、「フルセット型産業構造を超えて」(エコノミスト大賞)、「空洞化を超えて」(サントリー学芸賞)、「上海の産業発展と日本企業」(大平正芳記念特別賞)など。条件不利地域については『「村」が地域ブランドになる時代』、「地方圏の産業振興と中山間地域」(以上、編著、新評論)。

鳴本 浩二 氏 [NPO法人かさおか島づくり海社理事長]



1954年生まれ、岡山県笠岡市北木島在住。島の地場産業の石材業を父親が個人で営んでいたが、若者の雇用創出を目指し、会社化して「グローバルストーン」を設立。青年団活動を通じて行動力を磨き、1998年に笠岡諸島有人7島合同の「島の大運動会」を手掛け、島同士の交流を促進。2002年、島づくり海社の前身「電脳笠岡ふるさ島づくり海社」社長となり、2006年NPO法人格を取得し、現職。笠岡諸島活性化のためのかじ取り役として行政とも協働し活動。2007年、地域づくり全国交流会議で国土交通大臣賞受賞。

園田 正彦 氏 [三井物産戦略研究所研究フェロー]



1950年兵庫県生まれ。1973年甲南大学経営学部卒業、三井物産入社。肥料畑を歩き、1991年、商社のネットワークを活かし、農山村に対する経営コンサルティングを行う「ニューふあ〜む21」チームを結成、神河町では、消費地の企業との連携により、産地で米を炊飯・加工し付加価値を高めるプロジェクトなどを成功させる。1999年、チームが三井物産戦略研究所国土・地域振興室として独立、室長に就任。学習院大学経済学部非常勤講師、国土交通省小笠原諸島振興開発審議会委員、現在も、ガーデニングサミット連絡協議会副会長等、様々な分野で地域のネットワーキングを手がける。著書に『「町おこし」の経営学』(東洋経済新報社)等。

西尾 久美子 氏 [神戸大学大学院経営学研究科COE研究員]



京都市下京区で数代続いた米穀商の家に生まれる。京都府立大学女子短期大学卒業後、大阪ガス株式会社に勤務、滋賀大学経済学部を経て、2006年神戸大学大学院経営学研究科博士課程修了。神戸大学大学院経営学研究科助手を経て、同年10月より現職。大手前大学、明星大学非常勤講師。専門は、経営組織論、キャリア論、京都花街を地域産業としてとらえ、継続的な人材育成等の競争優位を分析した「京都花街の経営学」(東洋経済新報社、2007年)が広く注目を集める。地域に根ざした伝統産業の研究を続けている。

溝口 久 氏 [前・由布院観光協会・旅館組合事務局長(現・静岡県県民部)]



1983年静岡県に入庁、建築技師として、美術館、公営住宅等の建設や建築確認審査、都市マスタープランの手引き作成に携わる。1995年に由布院温泉観光協会と旅館組合の事務局長に応募、県の派遣研修制度により湯布院町へ出向、民間主導のまちづくりに携わる。2004年開催の「静岡国際園芸博覧会・浜名湖花博」の会場の建築計画に携わる。その後、NPO推進室を経て、現在は国民文化祭準備室にて第24回国民文化祭・しずおか2009を準備中。稲取温泉観光協会事務局長全国公募にアドバイス。

神座 保彦 氏 [ニッセイ基礎研究所研究理事]



1953年生まれ。ファンド・マネージャー、ベンチャー・キャピタリストを経て現職。ファンド・マネージャーとして上場企業経営者と接触するなかで大企業経営と「企業家」のあり方を、ベンチャー・キャピタリストとしてベンチャー企業経営を直接支援するなかでは、ベンチャー企業経営と「起業家」のあり方を強く意識する。この経験を活かし、研究所においては、非営利組織運営者と接触するなかでソーシャル・ベンチャー経営と「社会起業家」のあり方を考える。「営利ビジネスの視点から見た、非営利組織経営」について情報発信中。著書に「概論 ソーシャル・ベンチャー」(ファーストプレス刊)等がある。

現地見学



『こらっしえ稲取協議会の取組と課題』

東伊豆町では、観光産業地としての地域の担い手育成と地域活性化の一層の推進を図るために「こらっしえ稲取協議会」を発足しました。協議会は稲取のコンシェルジュとなる稲取オペレーターの育成、マーケティング調査、地域資源のマップづくりなどの取組を進めています。現地見学では、稲取オペレーターによるミステリーツアー、雛のつるし飾りの制作などを体験しつつ、今後の取組の課題について、現場で意見交換します。

参加案内

会場：伊豆稲取温泉 稲取銀水荘 / 参加定員：120名

アクセス：伊豆急行「伊豆稲取駅」から徒歩20分
駅から会場まで送迎バスがあります。

参加対象：多様な主体による協議会等による地域づくりに取り組んでいる関係者、全国で同様の課題に取り組む地方公共団体、NPO、地域の住民、企業等

参加費：無料

交流会：参加費5,000円

宿泊費等：15,000円（1泊2食：夕食時に交流会）

※宿泊費等には交流会参加費を含みます。

宿泊場所：稲取銀水荘（和室のため相部屋となるのでご了承下さい）

*一人部屋等その他の宿泊施設を希望する場合は、稲取温泉旅館協同組合（0557-95-2901）又は稲取温泉観光合同会社（0557-95-1157）にお問い合わせ下さい。

※東京から稲取温泉まで直通シャトルバスを毎日運行しています。

行き：東京（上野駅公園口）発 8:30→稲取温泉旅館協同組合前着（12:30着を予定）

帰り：稲取温泉旅館協同組合前発 14:30→東京駅着（18:30着を予定）

稲取温泉観光合同会社に電話：0557-95-1157 又はFAX：0557-95-1402 でご予約下さい。

詳細は、稲取温泉旅館協同組合公式サイト <http://www.inatorionsen.or.jp/> をご覧下さい。



参加申込

【参加申込締切：2008年2月4日（月）必着】

以下の申込書に必要事項を記入の上、下記へFAXまたはE-mailにてお申込み下さい。□の項目は✓印を、分科会の希望テーマは数字でご記入下さい。また、参加者が複数の場合は、人数分の申込をお願い致します。申込が届き次第、E-mail又は文書で受付の確認の書類をお送りします。

＜参加申込・問い合わせ先＞

（株）地域計画研究所 〒164-0011 東京都中野区中央 2-59-11 （担当：若山・田中）

TEL：03-3366-3225 FAX：03-3366-3258 E-mail：planners@js7.so-net.ne.jp

ふりがな	性別		団体名 役職	※行政の方は、所属を記入してください。
名前	男・女			
連絡先	〒			
	TEL：		FAX：	
	E-mail：			
基調講演	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 不参加	パネルディスカッション	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
分科会	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 不参加	現地見学	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加 ↳ <input type="checkbox"/> 雛のつるし飾り制作体験 (実費2,000円前後)
	第1希望：第____分科会 第2希望：第____分科会			
交流会	<input type="checkbox"/> 参加	<input type="checkbox"/> 不参加	宿泊	<input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない

※分科会についてはご希望に沿えない場合もございますので、予めご了承下さい。